



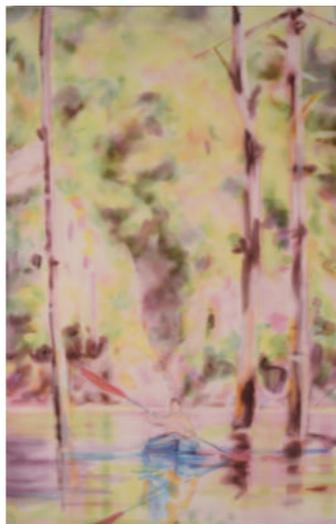
《Cloud and shadow - Block (red)》
2022年 162.2×131.0 cm

小林孝亘



《湘南の車窓から①》
2020年 130.3×97.0 cm

高橋信行



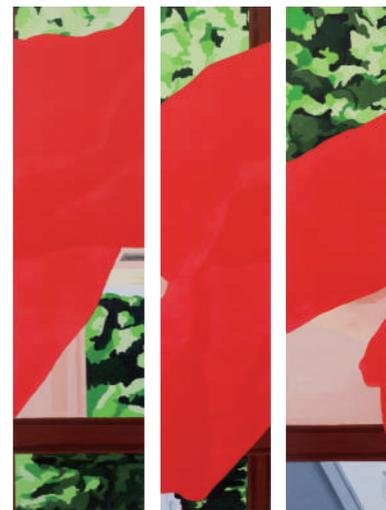
《waterfront scenery (201707)》
2017年 227.3×145.5 cm

丸山直文



《F60F120g731》
2022年 194.0×130.3cm

額田宣彦



《ALA 3 | ALA 4 | ALA 5》
2022年 216.0×55.0 cm
2022年 216.0×48.5 cm
2022年 216.0×48.5 cm

猪狩雅則

絵画のふつうーふつうの絵画

GROUND3 絵画のふつう—ふつうの絵画

2023年2月25日(土)–3月26日(日) ※金曜・土曜・日曜日、祝日のみ開館

アートラボあいち | 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内三丁目 4-13 愛知県庁大津橋分室 2階・3階

開館時間 | 11:00–19:00

入場料 | 無料

シンポジウム

「絵画のふつう、あるいは常識」

日時 | 2月25日(土) 13:00–16:00

13:00– 小林孝亘 × 額田宣彦

14:00– 丸山直文 × 高橋信行 × 猪狩雅則

15:00– 小林孝亘 × 額田宣彦 × 丸山直文 × 高橋信行 × 猪狩雅則

場所 | アートラボあいち 定員 :30名(当日先着順)

ファシリテーター : 中村麗、鳥越麻由

GROUND は、画家の小林孝亘(1960–)、額田宣彦(1963–)、丸山直文(1964–)、高橋信行(1968–)、猪狩雅則(1975–)によって2014年に結成されました。彼らは「展示」と「対話」をとおして、描く者もみる者も共に絵画をめぐる課題や問いを思考できる場を作ることを目的に活動を続けてきました。本展は彼らの4回目の活動にあたります。

現代の私たちを取り巻く世界は激変のただなかであり、人々の価値観はもちろん、当たり前前に共有され、理解されてきたはずの常識さえもまた、根底から覆され、変容しています。それは、絵画をはじめ、時代を機敏に捉える芸術表現においても同様でしょう。基軸となるべき「常識」を拠り所にするのができない今、私たちは何を基準に絵画を描き、絵画について思考するのでしょうか。

本展では作家の新作を中心とした展示に加えて、作家が絵画の「常識」や「ふつう」とは何かという容易に答えの出ない問いについて思いを巡らせたテーマ展示も行い、展覧会初日にはシンポジウムを開催します。画家の考える「ふつう」に立ち戻ることから改めて絵画とはなにかを考え、絵画の可能性を開くことを試みます。



〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内三丁目 4-13

愛知県庁大津橋分室 2階・3階

Tel&Fax : 052-961-6633

E-mail:ala@aichitriennale.jp

https://aichitriennale.jp/ala/

開館日 : 金曜日・日曜日・祝日

時間 : 11:00-19:00

[交通案内]

・地下鉄名城線「名古屋城」4番出口から徒歩5分

・地下鉄桜通線・名城線「久屋大通」1番出口から徒歩8分

運営 : 国際芸術祭「あいち」組織委員会



GROUND 愛知県立芸術大学

企画 | GROUND

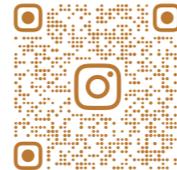
主催 | GROUND 実行委員会、愛知県立芸術大学、国際芸術祭「あいち」組織委員会

助成 | 一般財団法人地域創造

<お問合せ> 愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課

Tel 0561-76-2873 (平日 9:00–17:30)

※新型コロナウイルス感染症の状況により、予定を変更する場合がございます。最新情報はアートラボあいちウェブサイトまたは本学ウェブサイトをご確認ください。



GROUND 3

小林孝亘 Takanobu Kobayashi

額田宣彦 Nobuhiko Nukata

丸山直文 Naofumi Maruyama

高橋信行 Nobuyuki Takahashi

猪狩雅則 Masanori Igari



ART LAB AICHI



愛知県立芸術大学